

# 桜ヶ丘だより

鹿児島大学病院広報誌

Kagoshima University Hospital PR News



特集

## 消化器内科・小児外科のご紹介

看護部トピックス

C棟6階病棟 小児科・小児外科

C棟7階病棟 消化器内科・腎臓内科・糖尿病内分泌内科・心身医療科

歯科診療部門トピックス

口腔顎顔面外科「かみ合わせの改善、私達が手助けします」

臨床技術部トピックス

リハビリテーション部門「座ってできる簡単ストレッチ」

©鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

58  
2021.12

# 消化器内科

## Digestive Medicine



## “肝腎要”の異常を早期発見・治療する新技術の研究と 安心して医療を受けることのできる温かい環境づくり

—消化器内科の活動の特徴について教えてください。

消化器内科は、肝臓・胆膵・消化管の三つのグループに分かれています。肝臓グループでは2014年からC型肝炎に対するインターフェロンフリー治療を始め、飲み薬でほぼ100%ウイルスを消すことが可能になりました。耐性ウイルスに関しては県内2,000例のデータを集積し、C型肝炎撲滅日本一に向け、治療にあたっています。胆膵グループでは、近年増加する膵がんや難治性の胆管・胆のうがんに対し、内視鏡的処置を行う体制が整いました。また遺伝子治療・再生医学分野の小賤健一郎教授と共同で、膵臓がんの腫瘍溶解性ウイルスを用いた医師主導治験を進めています。消化管グループでは、早期消化管がんの内視鏡治療や炎症性腸疾患

等の研究を進めています。

—近年、内科でも診断に加えて内視鏡下の治療を行われていますね。

もちろん内科医にも内視鏡のスキルは必要ですが、大切なことは、その疾患に適応があるかないかを見極める診断能力です。技術に走って腕自慢するのは「医師の自己満足」ということは常々、医局員に伝えています。ただ、高度な手術スキルが求められる難しい治療もあり、外科や耳鼻科などのサポートの下で内視鏡治療を行うケースもあります。得意な領域をカバーし合う態勢を取っています。

—県内に数多くの関連病院を有する強みを、どのような形で地域医療連携に生かしていきますか。

現在、県内23の医療施設におよそ110名の医師を常勤として派遣しています。地域の医療機関では、一般内

科から消化器内科まで、患者さんの全身の診断・治療にあたっています。また当科は、組織再編前の旧第二内科に網羅されていた科として、同門の先生が今年でちょうど1,000名になりました。医局員と同門の先生方が一体になって、地域の医療を支えていると自負しています。

人材を派遣する際は、それぞれの適性を見極め「適材適所」を意識していますが、医師にとっていちばん大事なことは、機嫌良く仕事をするという姿勢です。患者さんの生活を支える「黒子」として、安心して医療を受けていただく雰囲気、環境をつくることも非常に大切だと思います。

(聞き手：鹿児島大学病院 広報担当  
副病院長 宇都 由美子教授)

# 小児外科

## Pediatrics Surgery

### 繊細な手技と専門知識を基に難病治療に挑み 子どもの人生の質を高め、未来の可能性を開く

#### — 診療の特徴を教えてください。

小児外科では、先天性あるいは生後の病気について、手術を主とする治療を行っています。脳と心臓、骨を除く、ほぼ全身の診療を手がけており、小児科をはじめ耳鼻咽喉科、整形外科など他科とも連携し、治療にあたっています。子どもは体が小さいだけでなく、年齢によって生理的な特徴も異なり、症状を言葉でうまく伝えることができません。私たちは、習熟した手術スキルと高度な専門知識を基に、子ども自身を「見て・触れて・感じて」寄り添い、質の高い医療を目指しています。

#### — 子どもを対象とする外科の診療で配慮していることは？

子どもの体は、成人と比べて非常に小さい上に組織も軟らかく、傷つきやすい。手術にあたっては“豆腐を触

る”くらい、繊細な注意を払って臨んでいます。一方、子どもの病気に動揺するご両親や親族の方への丁寧な説明、こまやかな対話を心がけ、精神的なケアやサポートにも努めています。

もう一つ、忘れてならないことは、術後の子どもの生活の質です。例えば、消化管の形態異常のため、生後すぐ人工肛門を作るケースもありますが、子どもの人生はそこから先が長い。スポーツや旅行、進学など、将来的に子どもの可能性を伸ばしていけるよう、長期にわたるフォローも大切にしています。小児は一般的に0歳から15歳までとされますが、その年齢を過ぎても、病気の特徴を良く知る小児外科医が他の診療科と連携を持ちながら診療にあたる場合もあります。

#### — 研究分野や地域貢献でもめざましい成果を挙げておられますね。

小児外科の領域には、まだ治療法が確立されていない病気が非常に多いことから、研究を重視しており、学生にもドクターにも症例報告や論文の執筆を勧めています。一人一人がキャリアアップして、次代の小児外科を担ってほしいという思いもあります。地域医療との連携に関しては、県内各地に関連施設を配置し、専門医派遣も行っています。また、離島へは当科から出向き、術後の患者さんのフォローなどを行っています。

私が知る範囲でも、子どもの頃に大きな手術を受けながら、医師やスポーツ選手、歌手になった人もいます。子どもの健やかな未来を支える仕事にやりがいを感じ、誇りと情熱をもって取り組んでいます。

(聞き手：鹿児島大学病院 広報担当  
副病院長 宇都 由美子教授)



田ノ上 講師

井戸 教授

誠  
実

## Profile

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
人間環境学講座 消化器疾患・生活習慣病学分野

### 井戸 章雄 教授

(大学院医歯学総合研究科長、消化器内科 部門科長、腎臓内科 部門科長、光学医療診療部長、肝疾患相談センター長)

- 1984年3月 長崎大学医学部 卒業
- 1990年8月 カルガリー大学 生化学教室 研究員
- 1995年3月 博士(医学)取得
- 1996年11月 宮崎医科大学 助手
- 2001年10月 同 講師
- 2002年7月 京都大学医学部附属病院 探索医療センター 助教授
- 2007年7月 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 人間環境学講座 消化器疾患・生活習慣病学分野 准教授
- 2014年1月 同 教授
- 2021年4月 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科長

- 資格
- 日本内科学会 認定内科医
  - 日本消化器病学会 専門医、指導医
  - 日本肝臓学会 専門医、指導医
  - 日本消化器内視鏡学会 専門医、指導医

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
人間環境学講座 消化器疾患・生活習慣病学分野

### 田ノ上 史郎 講師

(消化器疾患・生活習慣病学分野 医局長)

- 2001年3月 鹿児島大学医学部 卒業
- 2011年3月 博士(医学)取得
- 2012年4月 出水総合医療センター 消化器内科部長
- 2013年4月 University of Pennsylvania Postdoctoral Researcher
- 2016年4月 鹿児島大学病院 消化器内科 助教
- 2021年4月 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 人間環境学講座 消化器疾患・生活習慣病学分野 講師、医局長

- 資格
- 日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
  - 日本消化器病学会 専門医、指導医
  - 日本消化器内視鏡学会 専門医、指導医
  - 日本痔瘻学会 認定指導医
  - 日本肝臓学会 専門医



家入 教授

泰然  
自若

## Profile

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
外科学講座 小児外科学分野

### 家入 里志 教授

(副病院長(経営戦略(人事労務)担当)、小児外科 部門科長)

- 1994年3月 九州大学医学部 卒業
- 2002年1月 博士(医学)取得
- 2003年4月 九州大学医学部附属病院 先端医工学診療部 助手
- 2007年4月 九州大学病院 先端医工学診療部 助教
- 2010年10月 同 小児外科 講師
- 2014年7月 九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野 准教授
- 2015年2月 ユトレヒト大学ウィルヘルミナ小児病院 訪問研究員
- 2015年4月 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 外科学講座 小児外科学分野 教授
- 2020年4月 鹿児島大学病院 副病院長(経営戦略(人事労務)担当)

- 資格
- 日本小児外科学会 専門医、指導医
  - 日本外科学会 専門医、指導医、認定医



米国フェニックス小児病院の小児外科教授  
Daniel Ostlie 先生をお呼びしての招待講演





## 子どもの笑顔を守る最前線!! 子どもの成長をご家族とともに支援します!

### C棟6階病棟 小児病棟

小児病棟では、0歳から15歳までの小児を対象とし、病気を抱えながら治療に取り組む子どもたちやご家族が安心できるような看護を提供しています。また、南九州において骨髄移植の拠点であり、県内外からの入院も多く、少しでも頑張っている子どもたちが笑顔になる時間を多く持てるよう季節に合わせた夏祭りやクリスマス会などを開催しています。

子どもたちを取り巻く医師・看護師・保育士・院内学級の先生・臨床心理士など多くの職員で、治療だけではなく学習面や精神的な成長発達を支えています。

時には、子どもたちの頑張っている姿や笑顔に私たち医療従事者が励まされることもあります。入院中の限られた環境の中で楽しみを見だし、子どもたちの成長をご家族とともに喜び、患者さんやご家族の思いに寄り添う看護を行っています。



クリスマス会の様子

## 最上階からみえる桜島と錦江湾！100万ドルの夜景！ 患者さんの思いに沿ったケアの提供が自慢です！

### C棟7階病棟

C棟7階病棟は、消化器内科・腎臓内科・糖尿病内分泌内科・心身医療科を中心とした混合病棟です。昨年度より、入院から退院後の生活を見据えながら治療に臨めるように「電子クリニカルパス」の有効活用に取り組み、予定どおりお帰りになれるように努めています。また、疾患の特性上、内視鏡や化学療法治療目的で入退院を繰り返す患者さんが増えてきていますが、その都度療

養上必要なことについてカンファレンスを行い、患者さんの心に寄り添えるケアに取り組んでいます。

当病棟は最上階に位置し、院内で最も多くの有償個室を有しています。お部屋は4タイプあり、ほぼ全室から鹿児島県の象徴である桜島を一望することができます。患者さんお一人お一人の希望に沿った療養環境を選んでいただいて前向きに治療が受けられるようご準備し、また笑顔を保ちながら温かい看護の提供を心がけています。



病棟の看護師たち



特別室で患者さんに説明をしている様子



# 歯科診療部門

Dental Division's Activity

口腔の健康から全身の健康を守る



# 臨床技術部

Division of Clinical Technology

診療部門と連携し、支援を行う専門職種集団

## 全身の健康はきれいなかみ合わせから

口腔顎顔面外科「かみ合わせの改善、私達が手助けします」

「下あごが出ている」「あごがずれている」といった、骨格からくるかみ合わせの不具合には、健康保険を適応した顎矯正手術による治療が可能です。矯正治療だけでは改善できない骨格的なズレを手術と併用して治療するため、歯への負担が少なく、歯の寿命が長くなります。また、大きくずれたかみ合わせを治すことで、食べ物がうまく噛めるようになり、発音や滑舌も改善します。「手術で切るくらいなら…」と思われる方もいらっしゃるでしょう。ご安心下さい。顎矯正手術治療の専門家である私達が、責任を持って、生涯安定したかみ合わせを提供致します。ぜひ、ご相談下さい。



顎矯正手術前後（左：治療前、右：治療後）  
口元のバランスも改善され、快適な咬合関係になりました。

## 腰のコリでお悩みのあなたへ！

リハビリテーション部門「座ってできる簡単ストレッチ」

外出機会の減少や在宅ワークの増加により椅子に座って過ごす時間が増えてきているのではないのでしょうか？腰のコリは長時間の座った姿勢により筋肉の一部に負担がかかり筋肉の疲労や血流が低下し生じます。今回は座ってできる方法を紹介しますので、仕事の合間やテレビを見ながら実践してみてください(写真)。①お尻のストレッチ：足を組んでくるぶしを反対の膝の上に乗せる→背筋を伸ばしておへそを足に近づけるようにおじぎをする②腰のストレッチ：足を組む→組んだ足とは反対の手を膝に置く→足を組んだ方の手で椅子の背もたれに手をかけながらゆっくりと後ろを振り向く③太もも裏のストレッチ：浅めに椅子に座り片方の膝を伸ばす→反対の膝は軽く曲げて背筋を伸ばしおじぎをする



息は止めずにゆっくりと吐きながら10秒程度保持します。左右行いましょう。気持ちいいところを目安に伸ばします。

## 鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

鹿児島大学病院基金へのご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。お受けいたしました寄附金は、基金の目的に沿って有意義に活用させていただきます。ご寄附いただきました皆様方への感謝の意を込めまして、ご芳名等を掲載させていただきます。

なお、ご意向により、ご芳名等の掲載をご希望されない寄附者様につきましては、掲載いたしておりません。今後とも、鹿児島大学病院へのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年12月 鹿児島大学病院長 坂本 泰二

### 令和2年12月から令和3年9月までの寄附者様(順不同・敬称略)

- ◆個人
  - 【三十万円】 持増 芳文
  - 【二十万円】 松清 五男
  - 【十万円】 市村 カツ子
  - 【四万円】 山下 敏史
  - 【三万円】 久徳 英一
  - 【二万円】 河野 順子
  - 【一万円】 谷口 昇
  - 【一万円】 山下 聖二
  - 【一万円】 武田 泰生
  - 【一万円】 仲井 精一
  - 【一万円】 入部 英典
  - 【一万円】 貴嶋 陸博
  - 【一万円】 築地新 公女
  - 【一万円】 山森 剛
  - 【一万円】 又木 雄弘
  - 【ご芳名のみ掲載】 希望の寄附者様
  - 【一万円】 奥野 真湖
  - 【一万円】 徳重 友郁
  - 【一万円】 中村 智子
  - 【一万円】 新内 俊昭
  - 【一万円】 内村 真吾
  - 【一万円】 弓場 裕之
  - 【一万円】 福田 ゆかり
  - 【一万円】 内門 泰斗
  - 【一万円】 脇野 龍也
  - 【一万円】 松崎 健太郎
  - 【一万円】 内藤 慎吾
  - 【一万円】 奥屋 雅彦
  - 【一万円】 三原 健志
  - 【一万円】 河野 竜一
  - 【一万円】 山本 美奈代
  - 【一万円】 鮎川 秋徳
  - 【一万円】 川内 美千代
  - 【一万円】 渡辺 京子
  - 【一万円】 七呂 節子
  - 【一万円】 島田 広子
  - 【一万円】 今村 健三郎
  - 【一万円】 甲斐 律夫
  - 【一万円】 吉留 正次
  - 【一万円】 山下 美枝子
  - 【一万円】 東美枝子
- ◆団体等
  - 【一万円】 宮田 昌明
  - 【一万円】 徳重 明央
  - 【一万円】 横枕 久美子
  - 【一万円】 肥後 昌代
  - 【一万円】 福島 悦子
  - 【一万円】 今川 真由美
  - 【一万円】 中村 雅之
  - 【一万円】 嶽崎 俊郎
  - 【一万円】 萩元 美恵野
  - 【一万円】 金城 敏
  - 【一万円】 家村 和千代
  - 【一万円】 掲載を希望されない寄附者様 三十三名
  - ◆団体等
    - 【一万円】 社会医療法人義順顕彰会
    - 【一万円】 種子島医療センター
    - 【一万円】 医療法人朝戸医院
    - 【一万円】 一般財団法人親和会
    - 【一万円】 出水総合医療センター
    - 【一万円】 医療法人和芳会
    - 【一万円】 小林中央眼科
    - 【一万円】 団体等名のみ掲載
    - 【一万円】 希望の寄附者様
    - 【一万円】 サツマ薬品株式会社
    - 【一万円】 社会医療法人天陽会
    - 【一万円】 掲載を希望されない寄附者様 二団体

### 鹿児島大学病院基金へのご寄附のお願い



お問い合わせ先 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係  
 TEL: 099-275-6692 FAX: 099-275-6846  
 Eメール: kufsyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp  
 基金ホームページ: https://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/fund/

### 表紙の写真

(上段) 消化器疾患・生活習慣病学  
分野 田ノ上史郎講師・医局長

(下段) 小児外科学分野 家入里志教授



鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより 58号

発行日 / 2021(令和3)年12月発行 発行 / 鹿児島大学病院広報委員会  
 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6710 URL: http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/

